



# 落五便り

2月号



新宿区立落合第五小学校

## 子供の自己肯定感と自己有用感

副校長 野島 泰一

平成29年6月に行われた、中央教育審議会（第112回）において配布・公開された資料の中には、少し驚く結果が表れていました。

「自分は役に立たないと強く感じる（自己有用感）」という問いに日本の高校生の47.1%が「そう思う、どちらかといえばそう思う」と回答していました。

諸外国の同年代に比べ、日本の若者は他者との比較の上で回答していることが考えられ、自分の状況を客観視できていることの表れと捉えられる一方、「自分に自信がない、自分は無価値な存在だ」と感じる表れである可能性も否定できない、との分析がなされています。そして、子供たちの自己肯定感と自己有用感を育むために必要なことを以下のようにまとめています。

### 【学校の関わり】

- 主体的な学びや他者との協働等を充実させる  
→「挑戦心」「達成感」「規範意識」「自己有用感」を向上させるため。
- 先生がよいところを認める→自己有用感の向上につながる。

### 【家庭、保護者の関わり】

- 家の人にほめられる  
→「自分には自分らしさがある」という意識の向上
- 親から愛されている（大切にされている）  
→「自分には長所がある」という意識の向上

### 【有識者ヒアリング】

- 他者との協働のなかで、自分の役割を果たす。
- 子供が集団または個人で目標を達成した際、周りの大人が認めて成功体験を増やす。

これらを継続的に行い、子供たちの発達段階に応じた対応が重要

この資料を見て、かつて私が先輩にしきりに指導されていたことを思い出しました。

**「子供に仕事や活動を任せただけで、その責任は担任にある。たとえ上手くいかなかったり、失敗したりしても絶対に子供を責めてはならない。」**

**「子供を褒めるときは、大人の視点ではなく、子供の視点に立って褒めなさい。」**

ということです。

私は

前者→『子供は数多く失敗するものである。懸命に取り組んだ結果の失敗は、今後の大いなる糧となる。安心して間違えられる環境を整えなさい』

後者→『子供の良い行動は何であるのかきちんと見極め、適した価値付けをしないと大人の都合良いことしか行わなくなる』

と捉えています。

令和4年度も残りが少なくなってきましたが、子供たちの自己有用感を豊かにし、自尊感情をさらに高められるよう、教職員一同力を合わせて子供たちの指導にあたってまいります。

日	曜	2月の行事予定 SC教育相談日(3,7,10,14,17,21,24,28) ★朝モジュール(3~6年)・朝学習(1・2年)	朝遊び
1	水	安全指導	
2	木	演劇鑑賞教室(4年)	○
3	金	高学年備蓄倉庫見学、クラブ活動	
4	土		
5	日		
6	月	全校朝会	
7	火	★	○
8	水	B時程4時間、給食費・教材費引落し	
9	木	B時程5時間1,2年	○
10	金	かがやき集会、全学年5時間授業	
11	土	建国記念の日	
12	日		
13	月	全校朝会	
14	火	★、4時間授業(1,2年のみ)、新1年保護者会14:40~、社会科見学(5年)	○
15	水	★、全学年4時間授業 副籍交流(6年)	
16	木		○
17	金	かがやき集会、クラブ活動(3年クラブ見学)	
18	土		
19	日		
20	月	全校朝会、全学年5時間授業	
21	火	★	○
22	水	B時程5時間(低学年4時間) スプリングコンサート	
23	木	天皇誕生日	
24	金	音楽朝会、お別れスポーツ大会(5,6年)、委員会活動 1~4年5時間授業	
25	土		
26	日		
27	月	全校朝会、保護者会(1,2,3年)14:50~、学校保健委員会	
28	火	★、社会科見学(6年)	○

※今月は予告なしの避難訓練を行います

生活目標：気持ちのよいあいさつをしよう  
保健目標：楽しい学校生活をおくろう  
給食目標：食事のマナーを身につけよう